

新潟労福協

No7 2011年10月28日
一般社団法人 新潟県労働者福祉協議会
〒950-0965 新潟市中央区新光町6番地2
Tel 025-281-0890 Fax 025-281-0891
E-mail: ni-rfk@beige.plala.or.jp
URL http://niiigata.rofuku.net/
発行人 江花和郎

韓国労働組合総聯盟ソウル特別市地域本部 第11回訪問団が来日～友好と連帯の翼を広げる



国際交流協定にもとづき、韓国労働組合総聯盟ソウル特別市地域本部の第11回代表団（徐団長以下5名）が、8月9日から13日までの交流日程で来日し交流を深めました。

（関連記事は次ページ）

<韓国労組代表団> 労働福祉団体を表敬訪問

労働金庫、総合生協、連合新潟、大韓国民団など訪問し、事業内容や活動内容の交流を行いました。

◆労働金庫では、金子理事長から事業内容の説明があり、代表団からは、「労金の設立時、行政からの資金援助がなかったのか」「ローンの主力は何か、金利は市中銀行と比べてどうなのか」「韓国でも社会問題になっている、多重債務者の対応はどうか」など真剣な質問や意見交換が行われました。

◆総合生協では、田才理事長の事業内容説明の後、「共済とはどういう制度か」「夕食宅配は、高齢者には良い制度だ、料金は無料か」「宅配事業は韓国でも行われている、興味がある」など生活に密着した質問があり有意義な交流が行われました。



◆連合新潟では、江花会長より連合新潟の組織、構成団体について代表団の所属団体と対比しながら説明がありました。

新潟市内観光を楽しむ

その後、朱鷺メッセ展望室や護国神社、日本海マリニピアなどを観光し、労福協の構成団体の代表者による歓迎夕食会を開催し、日本料理を肴に代表団が持参された「マッコリ」などを酌み交わし、和やかな交流会が行われました。

例年がない猛暑の真夏の新潟を堪能され、終盤は涼しい北海道を観光しソウルと新潟の伝統ある交流会が意義深く開催されました。



東部ブロック労福協 第五期福祉リーダー塾修了式 労働者福祉運動の新たな創造をめざして

9月2日～3日にかけて、労福協運動の新たな創造をめざし、第五期（後半）福祉リーダー塾が静岡県三島市で開催、修了式が10月14日東京都で開催されました。

新潟県労福協からは、小野塚事務局長（労福協）、小島副事務局長（連合新潟）、松嶋次長（新潟労金）の3名が出席し、7月に実施した前期リーダー塾を受講後、どのように運動を実践されてきたか、また、後半のカリキュラムを受講し、どのように今後の運動に生かしていくかを目的に研修されました。

具体的には、労働者福祉の新たな展開を考えるために、先駆的事例報告や①働くことを軸とした安心社会の実現に向けた労組・労福協の役割、②地域運動の実践的課題について、③労金、全労済等、協同組合間協同のあり方、④労働組合、労福協とNPOとの連携と協働をどう進めるか、等、テーマにグループ討議により議論を深め、無事に修了式を迎えました。



ろくきん

毎週

土曜・日曜

も

ローン相談ができます。

ろうきん ローン プラザは

ローンプラザ 新潟西	☎ 0120-394505	月～金
ローンプラザ 東新潟 (東新潟支店内)	025-241-1660	9:00～19:00
ローンプラザ 新発田 (新発田支店内)	0254-22-3120	土・日
ローンプラザ 長岡 (長岡支店内)	0258-33-0222	9:00～17:00
ローンプラザ 上越 (高田支店内)	025-521-0707	

※休業日＝月～金の祝日 (振替休日含む) 5/3～5、12/31～1/3

リニューアルオープンしました!

「働くことを軸とする安心社会」

連合新潟は、11月2日（水）に第21回定期大会を開催します。私たちは、一復興・再生に全力を尽くし、「働くことを軸とする安心社会」につなげようのスローガンのもと被災地の復興・再生に全力を尽くしながら、連合運動への「参加」と組織の「拡大」に取り組みます。

連合新潟ホームページ

東部ブロック労福協

代表者・幹事会合同会議

労福協運動のあり方と組織運営について考える



東部ブロック労福協は、7月21日（木）、国内最高気温記録地の埼玉県熊谷市内にて代表者・幹事会合同会議を開催しました。会議では、中央労福協、中央労働金庫、全労済から、東日本大震災後の支援活動など、これまでの取り組みについて報告がされました。

また、東部ブロック構成の地方労福協（東京・茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・神奈川・新潟・長野・山梨・静岡）から、これまで各地方で取り組んできた活動について報告されました。協議事項では、今年度定期総会やライフサポート事業経験交流および東部ブロック結成50周年を迎えるにあたり、今後の運動のあり方や組織運営、50周年記念行事など、当面する課題について問題提起が行われました。

東部ブロック労福協

2011年度事業団体責任者会議

東日本大震災を鑑みて、何ができるか

8月31日（水）東部ブロック労福協の2011年度事業団体責任者会議が東京で開催され、新潟県労福協からは、金子労金理事長、田才総合生協理事長、江花理事長、山田専務理事が参加されました。

会議内容は、「東日本大震災を鑑みて」をテーマに、震災発生から今日に至る間、中央労金、全労済東日本事業本部、新潟労金、新潟県総合生協等、各事業団体の取り組み状況が報告され、一日も早い被災地の復旧・復興と生活再建に向けた今後の取り組みについて意思統一がはかられました。改めて、「支えあい・助け合い」運動の大切さを再確認する会議となりました。



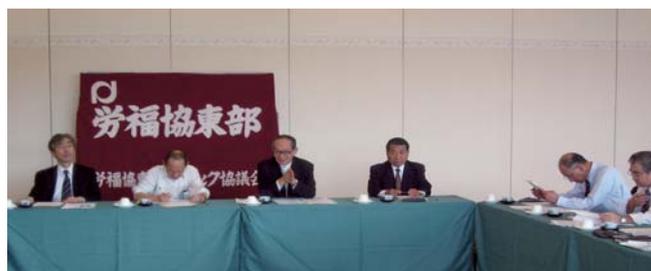
東部ブロック労福協

第184回幹事会 in 新潟

働くことを軸とする安心社会をめざして

10月24日（月）25日（火）に東部ブロック労福協（1都10県）の第184回幹事会が新潟県労福協の受け入れで新発田市（月岡温泉・ホテル清風苑）にて開催されました。

会議では、7月に開催した幹事会以降の各都県労福協の活動報告、今後の取り組み予定について報



告がされました。

11月に茨城県水戸市で開催予定の第46回定期総会を控え、2012年度活動方針の議論を中心に、長期化するであろう被災地の復旧・復興支援を労働者自主福祉運動の使命としてとらえ息の長い支援運動に取り組んでいくことの確認がされました。

また、大震災では、家族や地域の絆、人と人との助け合い・支え合いの大切さが見直される機会ともなりました。

改めて、労福協運動の掲げる働く仲間の連帯のもと、社会の隅々にセーフティネットを張り巡らす運動、格差と貧困により人々が孤立分断される社会から、「働くことを軸とする安心社会」へ歩みを進める運動の構築に向け議論がされました。

ZENROSAI NEWS

災害は突然やってきます。

自然災害共済

自然災害保障付
火災共済

風水害等給付金付火災共済・自然災害共済

大型タイプ で万一の災害に備えましょう。

※自然災害共済は、単独ではご加入いただけません。火災共済に追加してご加入ください。

【お問い合わせ・資料請求は】 受付 火曜から土曜（祝日を除く）
お近くの共済ショップ窓口まで 10時～16時

総合生協 ●新潟県では、総合生協が 保障のことなら
新潟県総合生活協同組合 全労済より業務を受託して 実施しています。 **全労済**

新潟県地域総合研究所の解散

♪音楽とトークでつづる昨日と明日の間♪

9月16日、社団法人新潟県地域総合研究所（諫山正理事長）の解散に伴い、ANAクラウンプラザホテルにて、音楽とトークでつづる「感謝の夕べ」が開催されました。



地域総研は、1995年10月に、新潟県総合生協・新潟県労働金庫・連合新潟など多くの労働福祉団体および労働団体を法人会員として、大学教授を中心に研究協力者を構成員として創設され、地域の活性化と発展のための調査・研究活動を行ってきました。

この間、新潟県内における地域産業政策、まちづくり、自治体行財政に関する課題など、時折の政策課題を取り上げ、セミナーの開催などを通じて会員の啓蒙にも寄与してきました。

一方、労働組織団体の統合再編や社会的調査機関の多様化、インターネットの普及等により容易な情報入手等、とりまく環境も大きく変化しており、次の世代が担いうる新たな地方シンクタンクの再生を期待し9月30日を最後に解散に至りました。

2011年度 第1回地域ライフサポートセンター

事務局長・コーディネーター研修会

～ロープレを交えた実践研修と経験交流～

10月15日（土）に地域LSC第1回事務局長・コーディネータースキルアップ研修会が開催されました。江花理事長から「地域LSCの役割と課



事務局長・コーディネーター研修会

題」についての講演後、事務局長・コーディネーター別に分かれての分科会を開催し、地域の現状と課題について意見交換がされました。

地域によって課題に差異はありますが、連合地協とLSCの関わり、相談内容の専門化、複雑化の悩み、広報活動の定着、財政の問題等、に集約



されます。その後、実践講座として、長岡ライフサポートセンターの井上眞紀子氏（産業カウンセラー）

によるロールプレイングを交えた「こころの相談に対する心構え」として、相談の基本や話法の講座を受け、各コーディネーターの自信とスキルアップにつながる研修会となりました。

労働金庫から生活資金や住宅資金を借り入れる際の保証人となる
勤労者のための信用保証機関です。

【保証引受の実績】 (平成23年8月末現在)

保証引受の内容	保証引受残高 (千円)
無担保ローン	8,685,917
住宅ローン	106,020,280
合計	114,706,197

〒951-8113 新潟市中央区寄居町332番地18
財団法人 **新潟県労働者信用基金協会**

地域に貢献するNPOや
市民活動団体の力になりたい!

地域の幸せと力に

2011年度「NPO等助成事業」は、
21団体に総額942.1万円を助成しました。

【当財団の助成事業】
新潟県労働金庫からの寄付金1億円を基金に、平成15年から10年間の計画
毎年1,000万円をNPO等市民活動団体に助成することで、勤労者・県民の社会的・経済的・文化的地位の向上に寄与することを目的としています。

〒951-8113 新潟市中央区寄居町332番地38 新潟県労働金庫内
(財) **新潟県勤労者福祉厚生財団**

東北電力ビッグスワンに結集！

第21回新潟県勤労者駅伝大会

76チーム（644名）が雨天の中、熱走

9月17日（土）に東北電力ビッグスワンスタジアムにて、第21回新潟県勤労者駅伝大会が76チーム（644名）の参加により開催されました。

江花実行委員長の主催者挨拶に続き、来賓として県労政雇用課・矢野課長祝辞の後、鈴木昭典さ



ん（U I ゼンセン同盟）の選手宣誓とスタジオキャンドル（未来のチアガール）のアトラクションにより、スタート前の興奮度は最高潮となりました。

東日本大震災以降、ボランティア等、様々な形での助け合い、支え合いが共感を生んでいます。その思いを1本のタスキに託し、「心と絆をつなぎ合う」駅伝大会となりました。

大会運営には、連合新潟、新潟市中央陸上競技協会、各大学陸上部など、多数の学生の皆さんからも大きなご支援をいただきました。



選手宣誓
（鈴木昭典さん）

総合優勝ゴール
（十日町市役所A）

駅伝大会の結果は、次のとおりです。

<総合順位>

優 勝	十日町市役所A	1時間19分26秒
準 優 勝	十日町地域広域事務組合A	1時間20分2秒
3 位	JP労組A	1時間25分45秒
4 位	十日町地域広域事務組合B	1時間28分11秒
5 位	新教組ラン・RUN・乱	1時間28分18秒
6 位	コロナアスリートクラブ	1時間29分47秒

<男女混合順位(女性2名以上が実走したチーム)>

1 位	糸魚川市役所駅伝競走部A	1時間33分18秒
2 位	新潟市役所マルモリ	1時間36分9秒
3 位	ブロードバンドご案内係	1時間37分15秒



スタジオキャンドルの皆さん

にいがたライフサポートセンター 第2回(2011年度)通常総会開催

7月25日、にいがたライフサポートセンターの第2回（2011年度）通常総会が新潟市「ガレソンホール」で開催されました。

総会には、来賓として新潟市より笠原課長（経済・国際部雇用対策課）を迎え、10年度事業報告の確認と11年度事業計画が決定されました。にいがたL S C

は、県L S Cが「ふるさと雇用再生特別基金」の委託事業として補助金を受け運営されており、これまでの事業内容について、県から相談件数や事業効果の視点から改善を求められていました。

総会では、件数増や効果を高める努力とともに同事業が2012年3月で終了することからも、今後のL S Cのあり方について継続した議論を確認し総会を終了しました。



< 勤労福祉会館 >

長期修繕計画策定・ 検証委員会スタート

9月13日(火)・10月21日(金)に、勤労福祉会館において、「第1回・2回勤労福祉会館長期修繕計画策定・検証委員会」を開催しました。委員会の正副委員長を選出、委員会の任務を確認後、関連業者より提出された、当面、3カ年の修繕工事の優先順位と費用の整合性等を検討し、次期の理事会提案に向け協議を継続していくことが確認されました。委員会の構成は以下のとおりです。

委員長 山田太郎 (労協専務理事)
副委員長 斉藤敏明 (連合新潟事務局長)
委員 大野義久 (労金総務人事部)
委員 竹内光範 (総合生協生活事業本部)
(事務局: 労協・大瀧事務局長)

第10回ハバロフスク地方労働組合

友好・親善交流と企業見学

— 代表団5名が来新して交流 —



国際交流協定にもとづき、第10回ハバロフスク地方労働団体連合会の代表団(アキノフ・デニス団長以下5名)が、9月19日～26日の日程で来日されました。

< 新潟市・総領事館表敬訪問&企業見学 >

代表団一行は、JR東日本新津車両製作所を見学し、電車生産工程および幹部社員による事業概要の説明を受け、国内でも数少ない先進的な技術を目のあたりにする機会を得て感嘆した様子でした。また、北越製紙(株)では、北越製紙労組花沢支部長から、工場内の最先端機能を装備した先進的な設備や技術を駆使していることの説明、また、環境に配慮した企業体をめざしていること等、詳しく説明していただきました。



< 歓迎夕食会 >

歓迎夕食会には、来賓として、能登谷部長(新潟市経済国際部)とプシュコフ・ウラジミール総領事(在新潟ロシア連邦総領事館)を招き、連合・労金・総合生協・労協等役員との盛大な交流会が開催されました。

1966年交流協定締結以来、新潟県労協に引き継がれて今回で10回目の訪日となります。45年間に及ぶ長い歴史と伝統に支えられ、さらに友好と連帯を深め、両国の労

勤労者の暮らしをサポート 育成会

育成会は労金会員が設立した組織。県内に働く勤労者とその家族の暮らしに役立つ活動を支援育成することが主な目的です。平成21年度は県内各地で以下の活動が行われました。

- ・文化講演会、福祉施設への助成
- ・ライフプランセミナー(多重債務問題)、住宅セミナー
- ・プロ野球観戦、サッカー観戦ツアー
- ・ゴルフコンペ、ボウリング大会

夢咲Clubの活動

- 労働金庫、総合生協、その他団体が行う勤労者福祉事業の利用をはかること。
- 会員の生活向上および相互の親睦をはかること。
- 会員の福祉活動に関する知識の向上をはかること。

会員には四季を通じて情報誌(夢咲club通信)をお届けしています。



労金関係業務(育成会・夢咲Club)運営事務局 勤労福祉会館内
連絡先 Tel 025(281)1188 E-mail: ni-lscr@apost.plala.or.jp



働者の幸せと発展のための力合わせを確認し、にわか仕込みの団結ガンバローも飛び出し有意義な交流会となりました。その後、代表団は、東京・関西方面を観光し、一行は無事に帰国の途に着きました。

民間で出来ること、家庭で出来ることなど、課題とシッカリと向き合い、より多くの人に関心をもってもらい理解を深めていただき、地域全体がさらにネットワークを広げ、連携した対策が大切であるとの確認がなされました。

コーディネーター 秋山三枝子 氏
 (くびき野NPOサポートセンター理事長)
 シンポジスト 高橋 邦明 氏
 (精神保健指定医 高橋クリニック院長)
 井上眞紀子 氏
 (長岡ライフサポートセンターカウンセラー)
 長谷川美代 氏
 (妙高市健康保険課保健師)
 アドバイザー 清水 康之 氏
 (自殺対策支援センターライフリンク代表)

上越ライフサポートセンター

講演会&シンポジウム

自殺のない「生き心地のよい社会」をめざして

10月23日、新潟県労福協（上越ライフサポートセンター）主催によるシンポジウム「うつ・自殺予防啓発運動in上越」が上越市「春日謙信交流館」において210名が参加する中で開催されました。このイベントは、新潟県労福協が今年度、新潟県の地域自殺対策緊急強化補助事業として県から受託された事業で、上越LSCを中心に、行政や商工会議所、NPO・市民活動団体など、多くの団体の方々の協力をいただき実施されました。第一部は、前内閣府参与として政府の自殺対策立案にも深く関わり貢献されている清水康之氏（ライフリンク代表）から、「自殺の現状と課題」について講演を受けました。



第二部は、「地域の自殺対策の現状と課題」をテーマに様々な分野で活躍されている方々によるシンポジウムが開催されました。自殺予防対策は、1つの団体の活動だけでは、限界もあり行政の役割、



平成23年 新潟県地域自殺対策緊急強化民間団体事業

いのちを支える全国キャラバン in 上越

いのち実える

自殺のない「生き心地のよい社会」をめざして

みんなで見守るこころと命

講演会 & シンポジウム

日本は自殺者が13年連続で毎年3万人を超えているという憂鬱すべき事態が続いています。新潟県は以前から自殺率が高く、平成22年の自殺率は、人口10万人当たり30.32で全国ワースト4位でした。【重要警報】自殺の原因は様々ですが、その実態に迫り、自殺をなくしていくことをめざして講演会を開催します。★清水康之氏講演後、地域の自殺対策の現状と課題をテーマにしたシンポジウムを開催いたします。

清水康之のロケール

元NHKアナウンサー、NHK放送文化研究所長。NHKアナウンサーとして15年勤務した後、NHK放送文化研究所長として10年勤務。NHK放送文化研究所長として10年勤務。NHK放送文化研究所長として10年勤務。NHK放送文化研究所長として10年勤務。

参加無料

平成23年 10月23日(日)

午後1時~4時(開演1時30分)

上越市春日謙信交流館

主催/うつ・自殺予防啓発運動in上越実行委員会
 (社)新潟県労働福祉協議会
 後援/新潟県労働福祉協議会上越支部
 新潟県上越地域振興局 新潟県糸魚川地域振興局
 上越市 妙高市 糸魚川市
 上越地区事務所 上越商工会連絡協議会 新井商工会議所 糸魚川商工会議所
 くびき野NPOサポートセンター

●お問合せ
 うつ・自殺予防啓発運動実行委員会事務局(上越ライフサポートセンター)
 ☎025-543-0551

お申込み方法は裏面をご覧ください。

一般社団法人新潟県労福協

新専務理事 紹介



新潟県労福協
専務理事

山田 太郎

6月に開催された新潟県労福協第26回定時総会で金子前専務の後任として専務理事に就任しました。出身労組（JP労組）の役員退任以降、9月から腰を据えて労福協でお世話になっています。

新潟県労福協は、今年度から事務局体制も強化され、事業の活動領域拡大と労福協の運動理念である「働く仲間の連帯のもとに、ゆとり・豊かさが実感できる福祉型社会の実現」をめざす活動が求められています。

ここ数年、日本社会は、経済効率性を優先するあまり格差と貧困が拡大し、生活環境がますます厳しさを増す中、セーフティネットにかからない人が増え自殺者も後を絶たない殺伐とした社会となっています。と同時に、3.11東日本大震災以降、「人と人の絆」、「支え合い、助け合い」など広がりを見せ、人の生き方や価値観等に大きな変化をもたらす時代ともなっています。

こうした地域コミュニティの再生、地域に根差した生き生きとした社会システムづくりに微力ではありますが力を注いでまいりたい、そして、当面、地区労福協の組織整備やライフサポートセンター事業の新たな5ヶ年計画等、課題は山積ですが、これま

での活動を強化、発展させ、地域市民の期待に応える運動を進めていく所存でございます。よろしくをお願いします。

当面の主な活動予定

- 10月31日(月) 社会福祉法人コープ共生会 第30回評議員会・第41回理事会
- 11月 2日(水) 連合新潟第21回定期大会 第2回パーソナル・サポート・サービス連絡会議
- 11月 7日(月)～11月12日(土) 第12回黒龍江省総工会代表团来新
- 11月 4日(金) 新潟県消費者フォーラムin新潟
- 11月16日(水) 新潟県労福協第89回理事会
- 11月19日(土)～23日(水) 友好の旅「タイ・バンコク」
- 11月21日(月) 第185回東部ブロック労福協幹事会 第46回東部ブロック労福協定期総会
- 11月22日(火)～11月23日(水) 東部ブロック役職員研修会
- 1月 5日(木) 労働団体友誼団体名刺交換会

トラベル・インフォメーション

元気が出る! 新潟 群馬
トラベルセンター共同企画

宴会プラン

2011～2012 宿泊用

期間:2011年11月11日(金)～2012年4月13日(金)
※但し、2011年12月30日～2012年1月3日を除く

5つのコースの中からお選びください!

おひとり様 1泊2食代金 (大人4名様以上で 1室利用の場合) ※プランや曜日によって 代金が異なります。	特選コース 12,600円～17,850円
味覚Aコース 8,400円～13,650円	飲み放題コース 鍋料理+9品 2時間飲み放題 10,500円 ?
味覚Bコース 9,450円～14,700円	おすすりはなやぎコース 鍋料理+11品 ビール1本+酒2本 15,750円

●新潟県内40軒、群馬県22軒、栃木県1軒、計63軒のお宿が参加!!
※詳しくは専用パンフレットをご覧ください。

- うれしい4の特典
- 平日利用なら1,000円割引!**
※月～木曜の宿泊利用で10名様以上、さらに、宿泊日の30日前までにご予約いただいた場合、宿泊者各料金より割引させていただきます。
 - カラオケ・ゲーム貸出無料!**
※但し、カラオケは10名様以上の場合。ゲーム(囲碁、麻雀、将棋)貸出は条件をご確認ください。すべて事前の予約が必要です。
 - 旅行引換券が抽選で当たる!**
※総額100万円の旅行引換券が当たる抽選会をご用意しています。詳しくは専用パンフレットをご覧ください。
 - お好きな飲み物に交換OK!**
※お酒2本⇔ビール1本、または、お酒2本⇔ジュース2本の交換が可能です。

お問い合わせ お申し込み **コープ・トラベルセンター 宴会プラン専用ダイヤル**
☎025-245-8589 【受付時間】月曜日～金曜日(祝日除く)9:00～17:00
<http://www.niigata-travel.coop>